【令和八年八月八日】末広がり　奥之宮御朱印　授与のお知らせ

この度、令和八年八月八日という誠に喜ばしい佳節を迎えるにあたり、皆様の益々の発展を祈念いたしまして「特別記念御朱印」を授与いたします
今回の記念御朱印には、当社の歴史と稲荷信仰に深く根ざした三つの「末広がり」の由縁が込められております

一、「八」が重なる、縁起の良い「末広がり」

漢数字の「八」は、下に向かって広がる形から「末広がり」と呼ばれ、古来より限りない発展や繁栄を意味する大変縁起の良い数字とされてまいりました
本年は令和「八」年「八」月「八」日と、この吉数が三つ重なる稀有な巡り合せとなります

二、伏見稲荷大社「一ノ峰」と末広大神

稲荷信仰においても「末広がり」は深いご縁がございます
全国の稲荷神社の総本宮である京都・伏見稲荷大社におきまして、神域である稲荷山の最高峰「一ノ峰」に鎮座されているのは「末広大神」であります　この記念すべき日に、稲荷の大神様の末広がりのご神徳をあらためて仰ぐべく奉製いたしました

三、扇ケ浦から羽田空港へ、広がり続けるご神域

当社の旧鎮座地は、その名の通り扇の形をした「扇ケ浦」と呼ばれておりました
まさに「末広がり」の形を体現するこの地は、現在「羽田空港」となり、日本と世界を結ぶ空の玄関口として、いまこの瞬間も日々拡張と発展を続けております
旧鎮座地から受け継がれる、末広がりの力強い息吹を感じていただけますと幸いです

幾重にも重なる吉兆を祝し、ご参拝の皆様に更なるご加護がありますよう祈念申し上げます

【授与詳細】

授与日：　令和八年八月八日（土）
授与時間：　午前八時三十分 ～ 午後五時
初穂料：
御本社 ＋ 奥之宮 ―――― 八〇〇円
御本社 ＋ 奥之宮 ＋ 稲荷山 ―― 一〇〇〇円

※お受けになる際のご案内と注意事項
今回の「特別御朱印（末広がりの意匠）」につきましては、「奥之宮」の御朱印のみへの対応となります
（御本社ならびに稲荷山の御朱印につきましては、通常通りの意匠となります）
御朱印は一つひとつ手書きで浄書しておりますため、書き手により書体が異なる場合がございます
何卒ご理解とご了承を賜りますようお願い申し上げます

